

## クロラントラニプロール(商品名:プレバソンプロアブル)の キャベツ, はくさいのコナガ, アオムシに対する防除効果

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

キャベツやはくさいのコナガは、薬剤抵抗性の発達により防除が難しい害虫である。そのような中、クロラントラニプロールは高い殺虫効果と長い残効性を示すことから、特に初期の防除剤として薬剤ローテーションに組み入れやすい薬剤であるため普及情報とする。

### 2 普及情報

1) クロラントラニプロールはコナガやアオムシに対して、対照薬剤のピリダリルフロアブルやエマメクチン安息香酸塩、アセタミピリド粒剤と同程度に高い防除効果を示す(図1~4)。

a) 薬剤名 クロラントラニプロール(商品名:プレバソンプロアブル)

b) 有効成分, 物理化学的性状

a) 有効成分: クロラントラニプロール 5.0%

b) 性状: 淡褐色水和性粘稠懸濁液体 c) 毒性: 普通物, 魚毒性: B類相当

c) 主な適用作物と対象害虫

キャベツ, はくさい: コナガ, アオムシ, ヨトウムシ ブロccoli: コナガ, アオムシ  
レタス: ナモグリバエ, ハスモンヨトウ, オオタバコガ

d) 使用方法

灌漑処理

a) 使用時期: 育苗期後半~定植当日 b) 使用回数: 1回以内 c) 使用濃度: 100倍液

d) 使用方法: セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓを灌漑

散布処理

a) 使用時期: 収穫3日前まで b) 使用回数: 3回以内 c) 使用濃度: 2,000倍液

d) 使用方法: 散布

2) 本剤は既存の薬剤のうちフルベンジアミド(商品名:フェニックス顆粒水和剤)と同じジアミド系殺虫剤で、同じ作用機作を有するので連用を避ける。また、訪花昆虫や天敵への影響は少ない。

### 3 利活用の留意点

1) 使用前に容器をよく振る。

2) 使用量に合わせ薬液を調整し使い切る。

3) 散布液調整後はできるだけ速やかに処理する。

4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

5) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意する。

6) 殺虫剤抵抗性の発達を防ぐため、同系統の殺虫剤の連用は避ける。

7) 本剤の価格は500mlで 円程度である。

(問い合わせ先: 農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話022-383-8123)

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

新農薬による園芸病害虫の防除 平成20～21年度

##### 2) 参考データ

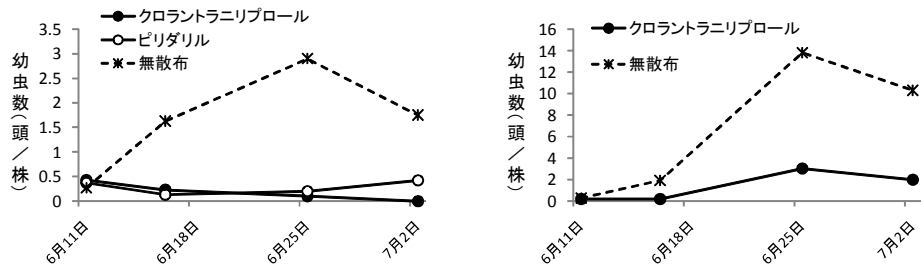


図1 キャベツのコナガ(左図)及びアオムシ(右図)に対するクロラントラニプロールの防除効果(農園研内,平成20年,品種:楽園)

クロラントラニプロール:プレハソフロアブル2000倍液,ピリダラル:プレオフロアブル1000倍液,散布月日:平成20年6月11日

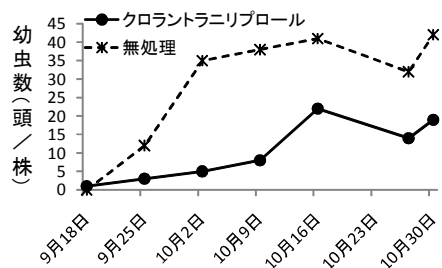


図2 キャベツのアオムシに対するクロラントラニプロールの灌注処理による防除効果(農園研内,平成21年,品種:初恋)

クロラントラニプロール:プレハソフロアブル100倍液,0.5ℓ/育苗トレイ,処理月日:平成21年9月11日(定植時)

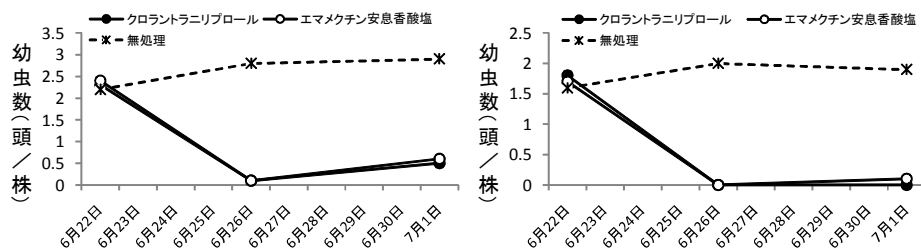


図3(参考) はくさいのコナガ(左図)及びアオムシ(右図)に対するクロラントラニプロールの防除効果(県植防協会,平成17年,品種:はるさかり)

クロラントラニプロール:プレハソフロアブル2000倍液,エマメクチン安息香酸塩:アファーム乳剤1000倍液  
散布月日:平成17年6月22日(コナガ),26日(アオムシ)

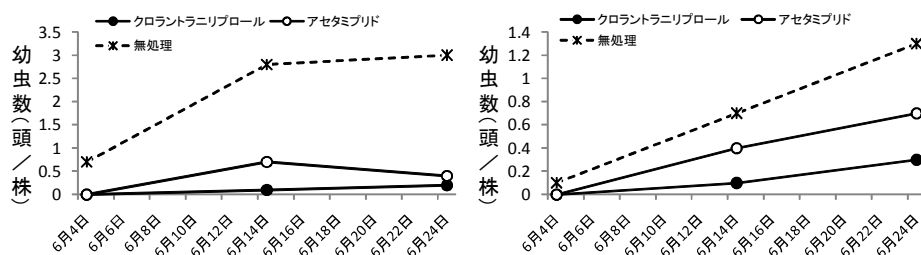


図4(参考) はくさいのコナガ(左図)及びアオムシ(右図)に対するクロラントラニプロールの灌注処理による防除効果(県植防協会,平成17年,品種:はるさかり)

クロラントラニプロール:プレハソフロアブル2000倍液,0.5ℓ/育苗トレイ,アセタミプリド:モスラン粒剤,1g/株  
処理月日:平成17年5月25日(定植時)

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし